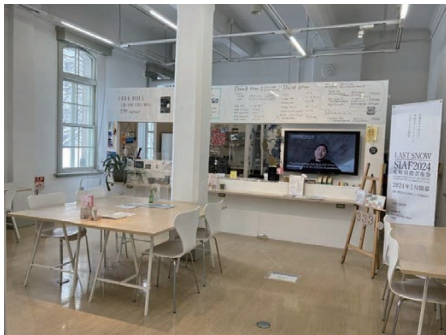


札幌市資料館（現地レポート）



国の重要文化財でアート・歴史に触れる【現地レポート】

大通公園西12丁目サンクガーデンゾーンの先に見える、札幌軟石で作られた重厚感のある建物「札幌市資料館」。札幌控訴院として建造され、資料館となって今年（2023年）で開館50周年を迎えます。

実は、歴史とアートの情報発信の場として、世代を超えて楽しめる施設ということをご存じでしょうか？以前は札幌交響楽団の練習室としても使われ、開館当初から文化芸術と深い関わりがあったそうです。

「資料館おすすめポイント」

①「刑事法廷展示室」

控訴院時代の法廷を復元した部屋で、被告人のすぐ後ろに新聞記者席があるなど、現代とは全く違うレイアウトになっています。また、札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME（ドレメ）の学生が制作した法服のレプリカを着ることができます。取材当日も若い男性2人組が試着していましたが、親子で羽織って写真を撮りつつ、裁判について話してみるのも良い経験になるかもしれません！

②「螺旋階段」「ミニギャラリー」

ステンドグラスが美しい螺旋階段は今や人気の撮影スポット。階段をのぼると正面に大きな窓のあるミニギャラリーが6室現れます。大通公園を見渡せる景色の中で一般の方々のアート作品に触れ、とても豊かな気持ちになります。

③SIAF ラウンジ

札幌国際芸術祭の情報や企画展示、アートに関する資料とともに、子ども向けのアート本や絵本も数多く展示されています。持込み OK のカフェも併設されているので、お子さんと一緒にゆっくりと過ごすこともできます。

100年近くもの間、札幌の移り変わりと共に歩んできた資料館。2020年には国の重要文化財にも指定され、これからどう活用されていくのかも楽しみです。案内をしてくれるボランティアスタッフも常駐しているので、詳しく知りたい方は、ぜひお話しを聞いてみて下さい。

#2023年2月取材

#現地レポート

住所	札幌市中央区大通西13丁目
電話番号	011-251-0731
URL	https://www.s-shiryokan.jp/
営業時間	開館時間：9:00～19:00
休業日	月曜日（祝休日の場合はその翌平日が休館） 年末年始（12月29日～1月3日）
アクセス	地下鉄東西線「西11丁目駅」1番出口より西へ徒歩5分 市電「中央区役所前」または「西15丁目」下車 徒歩6分

<スポットを紹介している人>

高橋 弥子 (たかはし やえこ)

フリーアナウンサー、イベント MC、ナレーター。学生時代から現在まで暮らす札幌が大好き。趣味は辛い料理屋さん巡りと、3歳息子とのお出かけスポットを探すことです。

●紹介しているスポット・ルート

札幌市資料館 (現地レポート)、札幌市水道記念館